

みくまの 11月号 マンスリータイムズ



第35回 みくまの運動会

10月12日（土）に、第35回みくまの運動会が開催されました。今年度もたくさんの方々に見守られながら無事終わることが出来ました。暑さも心配されましたが、体調を崩す児童生徒もなく、元気に頑張りました。今年のテーマは「輝け！全力出しきる みくまの運動会2024」。テーマの通り各学部ともみんなが練習以上に力を出しきり、キラキラ輝いていました。運動会を見てくださった方々からは、「みんな頑張っていて感動した。」等の声を聞くことができました。児童生徒が頑張ることが出来たのもたくさんのご来場の方々の「頑張れ～」というご声援のお陰です。本当にありがとうございました。また、高等部は、係活動の練習が十分に出来ませんでした。運動会がスムーズに行われるように放送、スタート・ゴール、準備・片付け・飾り付けの係に分かれ、一生懸命に係活動に取り組んでくれました。生徒会のメンバーも挨拶や準備運動等みんなの見本となって大活躍してくれました。



高等部 校外学習

10月24日（木）に、高等部1年生は、3つのグループに分かれ、1班はくじらぐも事業所と多機能型事業所えんに、2班はワークショップゆうと第2なぎの木園に、3班は障害児者支援センター虹に現場見学会に行きました、昼食は、ワークランドそらで食べました。（1、2班は見学もしてきました。）

1班は、くじらぐも事業所のベッドメイキングを見て、「ホテルに泊まった時には意識していなかったが、こういった仕事をしている人がある。」と感想を持ったようです。また、二人一組で要領よくシーツ交換をし、宿泊学習の時は、2人で協力してシーツに布団を入れていました。

2班のメンバーは、各事業所で「仕事は楽しいですか？」といった仕事のことや、休憩時間の過ごし方、給食の内容などを質問し、実際にその事業所で働いているみくまの支援学校の卒業生から、一つ一つの質問に答えてもらいました。

3班は、障害児者支援センター虹で2つの班の見学をし、1つはボウリング、もう1つはUNOのカードゲームを利用者の方と一緒に体験してきました。初めは少し緊張していたようですが、学校でもよくしているボウリングだったので、一緒に楽しい雰囲気を楽しむことができました。

12月より、現場実習が始まりますが、今回見学し、学んできたことを活し、充実した実習にしていきたいと思います。



小学部高学年 子ども食堂

小学部高学年は美熊野福社会様より「子ども食堂」に招待され、10月30日（水）にランチ体験に行ってきました。

美熊野福社会様では、様々な年代の地域の皆様の「交流の場」「憩いの場」「学びの場」となるよう、地域に根ざした社会福祉法人の役割と責任を果たすため、「子ども食堂」事業を開始されました。

今回のメニューは「ハンバーグ」と「お子様ランチ」。事前に美熊野福社会栄養士の皆さんが来校され、本校児童の食形態や食事の様子を見学し、当日に向けて準備をしてくださいました。また、「お子様ランチ」をチキンライスと白ごはんから選べるように配慮くださるなど、丁寧な対応をしていただきました。

当日の食事場所は、ワークランドそら内「café そら」、そして、本校の貸切にさせていただきました。友達や教員とのやりとりを楽しみながら、吹き抜けの明るい気持ちのよい空間でゆったりと食事をすることができました。また、苦手な野菜も残さず食べるなどの児童の姿も見られました。

食事の後は2階の学童スペースで、ゲームやトランプ、レゴブロック、読書などそれぞれリラックスして過ごすこともできました。

今回の「子ども食堂」では、ワークランドそらで働く職員さんや本校卒業生の皆さんとの「交流の場」、食事や遊びなどで「学びの場」「憩いの場」を提供していただき、児童一人一人にとって価値ある体験の時間となりました。



県立なぎ看護学校生の小児看護実習

今年度、学校の近くにあるなぎ看護学校3年生の小児看護実習を初めて受け入れました。対象学生は27人で、5グループに分かれ、それぞれ2日間の実習を行いました。事前学習として5月には出前授業を実施し、本校教頭が特別支援教育や本校の教育の概要を、看護師が医療的ケアの概要等について講義・演習をしました。本校における実習では、医療的ケアの実際の様子を見学したり、各学部の授業に入って児童生徒の支援等について学んだりしました。質問をしたり、メモをとったり、本当に熱心に取り組んでいる看護学校生の様子が印象的でした。看護学校生の皆さんは、東牟婁地域や三重県南牟婁郡への医療機関等への就職が決まっているとのこと、地域で本校の児童生徒がお世話になることがあるかもしれません。「病院が苦手」という児童生徒たちにとって、きっと心強い存在となってくれることでしょう。

